

### **建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授） 『EPD・CFP勉強会』の開催について**

建築物のライフサイクルカーボンの削減に向けた制度については、本年10月に建築物LCA制度検討会（国土交通省）の中間とりまとめ（案）が示されたところですが、この中でも、2028年度の制度開始を見据え、建材・設備製造事業者の役割として、建材・設備のCO2等排出量原単位の整備が求められているところです。

この度、建材・設備関係の団体及び個社によるEPD・CFPの作成に関する基礎知識の取得や取組の啓発を目的として、建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）が主催し、経済産業省及び国土交通省の協力を得て、『EPD・CFP勉強会』を開催することとなりました。

# 1. 開会・趣旨説明（建産協）

資料1-②

|           |  |
|-----------|--|
| 主 催       | ：建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）<br>(協力：経済産業省、国土交通省)   |
| 事 務 局     | ：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会   |
| 目 的       | ：CO2等排出量に係るデータ（CFP：カーボンフットプリントあるいはEPD：環境製品宣言）の業界団体・個社としての作成に関し、建材・設備関連の団体および個社における取組の一層の拡大を図るため、基礎知識の習得、意識向上、取組に向けた啓発を行う。  |
| 対 象 者     | ：個社および業界団体（建産協、ALIA、未接点団体 等）<br>※EPD・CFPに関する業界代表データや個社製品データの作成について、取り組み方針が定まっていない、または取り組みを開始できていない建材・設備関連の団体および個社を主な対象とする。 |
| 期 間       | ：2025年12月～2026年2月の間に、複数回開催予定   |
| 開 催 形 式   | ：オンライン形式   |
| 参 加 者 人 数 | ：最大50名程度   |
| フォローアップ   | ：・各回、参加者から受け付けた質問に対する回答をQA集として公開予定。<br>・勉強会を録画した動画を後日視聴可能とする予定。  |